

スポンサー様

## JJSF 全日本選手権 第3戦 & 第4戦 in 木曽川

### 開催日

6月5日・6日

### エントリークラス

- ・ Bスキーストック (第3戦、第4戦)
- ・ Bスキーリミテッド (第4戦)

### 第3戦の結果

STK 予選：2位  
決勝：優勝

### 第4戦の結果

STK 予選：1位  
決勝：優勝

LTD グリッド予選：DNR (マシントラブルにより、1週のみ走行後、リタイヤ。)  
決勝：優勝



### 第3戦

この日はS4の調子が悪く第1・2戦のようにホールショットを取ることができませんでした。なので今回は後ろから上がってくるという展開が多かったです。

迎えた予選では、アウトコースの一番イン側からのスタートでした。いつもだったらこのままホールショットでいけるはずが、今回はあまりトップスピードが伸びず、1艇に先行されてしまいアウトの2位で合流へ向かいました。合流ではインコースからの3艇に行かれてしまい5位だったのですが、ホームストレートまでに2艇抜くことができ、その後すぐに1艇抜くことができたので一気に2位まで上がることができました。しかし1位艇を抜くことはできず、2位で予選通過と言う不完全燃焼のレースとなりました。

決勝もアウトコースでのスタートとなりました。やはり決勝でも1艇に先行されてしまいますが、合流までに抜くことができ、合流では1位になることができました。そこからは後続艇を引き離すことができ、第1・2戦同様、1位でゴールすることができました。

### 第4戦

第4戦はハバスへの練習も兼ねて、リミテッドクラスにもエントリーするWエントリーをしました。

ストックの予選はインコースからのスタートでした。この日のストッククラスの予選だけは、なんとかホールショットをとることができ、そのまま1位でゴールしました。

リミテッドの予選では良いスタートを決めて走行していたのですが、今まで全勝&ランキング1位の伊藤選手に突っ込まれてしまいました。僕は、接触後もTOP走行を続けていたのですが、伊藤選手はその接触により、転倒、艇から手が離れるという展開となり、レースは赤旗中断となりました。LTDクラスでTOP走行をしていただけに非常に残念でした。再スタートの為にスタートゲートに戻ると、ボディー破損、ターボ系パーツの破損と言う状態で、すぐ再スタートが切れない状態でした。オフィシャルに修理の時間を頂き、メカニックやチーム武蔵の方などの協力により、緊急修理を行い、再スタートを迎えました。しかし、再度マシントラブルが発生し、1周走行した時点でリタイヤとなりました。

ストックの決勝ではアウトコースからスタートでした。スタートは第3戦の時と同様、ホールショットをとることができませんでした。合流までに抜くことができ1位で合流することができました。ゴールまでそのまま順位が変わらず、後続艇を大きく引き離し、第4戦も優勝することができました。

リミテッドの決勝はインコースの大外からのスタートとなりました。S4にとっては一番辛い場所なので多少の不安はありました。スタートは出遅れるものの、少しずつ抜いていくことができインコースの3位で合流へ向かいました。合流で一気にまくって行き順位を上げ、合流後の2点ブイでは2位の人と並ぶことができました。2位艇をアウトからまくって行った結果、なんとかパスして2位でホームストレートを通過することができました。

この時点の1位は、全勝&予選で接触の伊藤選手です。ここは、何が何でも抜かさなくては行けません。この週のチョイスでは伊藤選手がインコースに行ったので、僕がアウトコースに行きました。できれば早い段階で1位を抜きたいと思いましたが、ほとんどアクセルを緩めず息を止めて走った結果、一回のチョイスで伊藤選手を抜くことができました。それからは後続艇を大きく引き離し、1位でゴールすることができました。

### 感想

ここまで全勝することができました。またリミテッドクラスにおいても優勝をすることができ、とても嬉しく思っています。また、レースコンディションとしては、今回も午後から水面が荒れてくる状況でした。ケビンにも教わったように、レースコース上でもチルトを使い常に水を噛ませる様に走りました。いかに水を噛ませて走らせるかによって、ラップタイムが大きく変わります。もっと艇を手足の様に操り、早くケビンやダリアックを倒せるよう練習に励みます。

次の蒲郡大会は、僕が得意な海で行われます。これからは海での練習を増やし、第5・6戦でも優勝できるように頑張っていきますので、今後とも応援宜しくお願いします。

Team WPS Japan

#55 小原 聡将

